

「日々の理科」(第 2280 号) 2020, 10, -9

「火星大接近写真集 (2)」

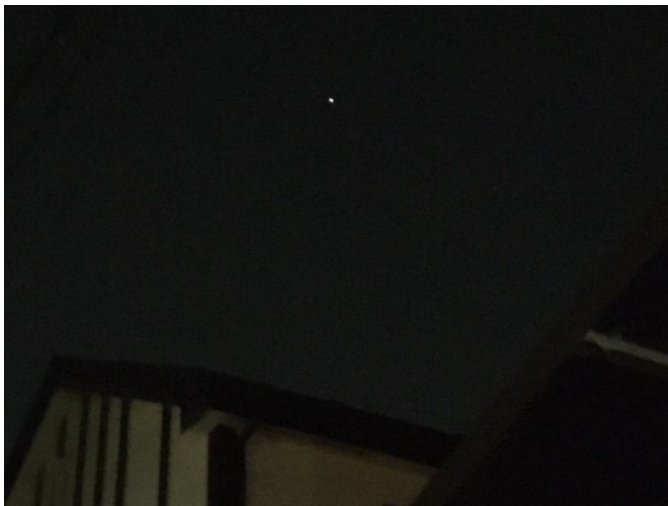
お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka



【徳島県小松島】火星を明るくとらえた、素晴らしい写真だ。肉眼ではもっと赤っぽく見えたはずだ。



【調布市染地】火星の赤さがよくわかる写真である。



【練馬区桜台】薄雲がかかっている、火星の周囲に少

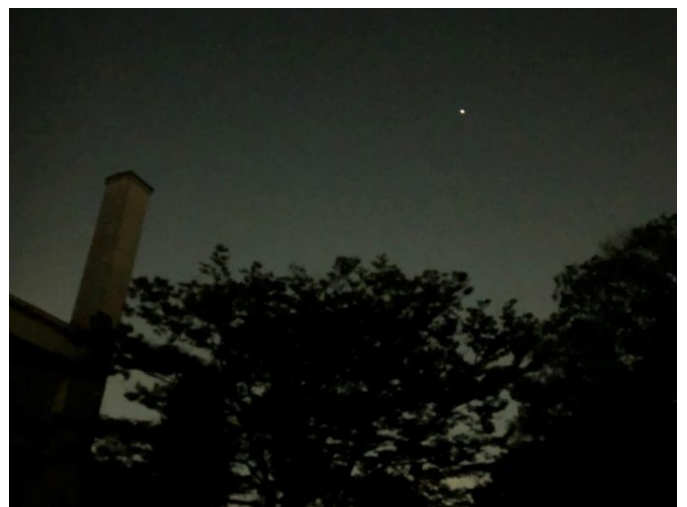
し光芒が見える。スマホだとこのくらいが限界だが、一眼レフで撮影すると、光環が写ったと思う。



【埼玉県大宮】雲間に見えた火星の一瞬をとらえた、素晴らしい写真。「住宅地でもよく見えた」ということがよく伝わってくる。



【豊島区椎名町】放射状巻雲がかかっている。これで月に暈(うん)がかかっていたら、最高傑作だった。



【文京区大塚】教育の森公園の近く。森かげの上にポツンと浮かぶ火星は、素晴らしい構図の都市天体写真。